

新型コロナウイルス禍

巨大地震への備え！

自宅避難！



小牧市消防本部 消防総務課

避難所の収容人数減少
に対する対策！

【在宅避難】（自宅で避難）
備えの再確認！

篠岡学区 人口・世帯数&コロナ禍での避難所収容人数

● 篠岡学区 人口世帯数

地区	男	女	合計	世帯数
池之内	1,133	1,186	2,319	1,010
林	546	574	1,120	433
篠岡1	802	844	1,646	752
篠岡2	130	181	311	140
篠岡3	476	505	981	382
合計	3,087	3,290	6,377	2,717

※この数字は外国籍の方を含む。
2020.06.01現在

篠岡学区人口&収容人数



(通路・受付など含まず)

●避難所収容人数には
限界があります!!

新型コロナウイルス対策を考慮するとこれまでの認識の10分の1以下の収容人数が想定されます。

左図の通り、**【体育館で282名】**、学区人口**6,377名**の**【4.4%】**しか収容出来ません。

もし教室が使用出来たとしても**【495名7.7%】**しか収容できません。このことから、南海トラフ巨大地震に備え、**【在宅避難の重要性】**を再確認していただき今まで以上の準備が大切です。

● 篠岡学区避難所 収容人員

- ワンタッチパーティション $2.1m \times 2.1m = 4.4m^2$
- ソーシャルディスタンスの場合 $4.1m \times 4.1m = 16.8m^2$ (3.8倍)

篠岡小学校 体育館	$30m \times 20m = 600m^2 \div 16.8m = 35基 \times 3名 = 105名$
篠岡中学校 体育館	$36m \times 28m = 1,008m^2 \div 16.8m = 59基 \times 3名 = 177名$
合計	※通路、受付、運用スペース考慮無し(机上数値) 282名
※メイン通路、補助通路を考慮した場合(机上数値) 216名	

● 新型コロナ禍での【教室】収容人員予測数

- ソーシャルディスタンス確保面積 $1.3m \times 1.3m \times 3.14 = 5.3m^2$

篠岡小学校 教室	$63m^2 \times 12教室 \div 5.3m^2 = 142人$
篠岡中学校 教室	$63m^2 \times 6教室 \div 5.3m^2 = 71人$
合計	※通路、受付、運用スペース考慮無し(机上数値) (213名)

● 避難所は自宅に住めない人が避難する場所です

自宅生活の可能性があれば、**在宅避難をしましょう!**
(新型コロナウイルス感染対策に効果的です)

● 避難所の生活環境は決して良好ではありません!

プライバシーの確保が難しい避難所より、住み慣れた家で過ごす方が、ストレスの少ない被災生活を送れます。
また、安全な親戚・知人宅など**【分散避難】**の検討も大切なことです。

避難所の現状の非常用備蓄品

● 篠岡学区 備蓄場所 及び、備蓄品リスト

項番	品名	単位	篠岡小学校	篠岡中学校	東部市民センター	項番	品名	単位	篠岡小学校	篠岡中学校	東部市民センター
1	玄米スナック	食	240	240	240	25	アルファ米	食			
2	ライスクッキー	食	240	240	240	26	(透析患者対応)アルファ米	食			
3	液体ミルク	缶				27	缶入りパン	食			
4	簡易トイレ 備蓄用	箱	10	10	10	28	粉ミルク	缶			
5	(備蓄用簡易トイレ)便収納袋	袋	500	500	500	29	(アレルギー対応)粉ミルク	缶			
6	(備蓄用簡易トイレ)圧縮保管袋	枚	25	25	25	30	赤ちゃん用 哺乳瓶	個			
7	災害弱者兼用トイレ(ドントコイ)	台	2	2	2	31	災害時オストメイト用トイレ	台			
8	トイレレットペーパー	ロール	48	48	48	32	紙コップ	個			
9	真空パック 毛布	枚	140	140	140	33	紙オムツ 大人用	個			
10	真空パック タオル	枚	200	200	200	34	紙おむつ 子供用	個			
11	給水袋 10ℓ	枚	300	300	300	35	生理用品 女性用	個			
12	給水袋 5ℓ	枚	0	400	0	36	敷きマット	枚			
13	給水タンク	個	2	2	2	37	敷きマット (ロール状)	本			
14	多人数救急箱	箱	1	1	1	38	パーテーション(ワンタッチ)	張			
15	移動式炊飯器	個	1	1	1	39	生活用テント	張			
16	発電機	台	2	2		40	プライベートルーム	張			
17	スコップ	本	10	10	10	41	間仕切りボード	枚			
18	バケツ	個	20	20	20	42	カセットコンロ	台			
19	ハンドマイク	個	1	1	1	43	応急炊具箱(百人用)	箱			
20	保存水 (0.5ℓ)	本				44	セレモバック(収納袋)	枚			
21	保存水 (1.0ℓ)	本				45	投光器	セット			
22	乾パン	食	384	384	420	46	間仕切り台座(ダンボール製)	基			
23	クラッカー	食									
24	ビスケット	食									

↑ 東部市民センターの備蓄は、東部地域全体のの備蓄品の為、篠岡学区としては、カウントしない方が賢明と思われる。

● 応急給水用資材

	篠岡中学校	東部市民S
水槽容器タンク500ℓ	2	2
給水用袋 5ℓ	400	—
給水用袋 10ℓ	300	300
バケツ 16ℓ	20	20

500ℓ(容器)÷2ℓ=250本
※2ℓのペットボトル250本

● 避難所に備蓄している非常食・飲料水などは限られています。

避難所にある非常備蓄食料、飲料水は、収容人数に対して、概ね1日分だけです。
救援物資が来るまでの数日間は、自分たちで食料・飲料水を分け合うしかないので現実です。

井戸のある地区でも大震災で出なくなる可能性もあります。また、電気が無ければくみ上げることが厳しくなります。

● 耐震性貯水槽

設置場所	篠岡中学校
容量(m ³)	100m ³

☆ 篠岡中学校【飲料水兼用】

100m³=100,000ℓ

2ℓペットボトル約50,000本
但し、貯水槽に利用は、小牧市東部地区全体で使います!

m³=立米/
単位

**篠岡学区 避難所には
飲料水の備蓄はありません!**

重要

地震被害を受けた建物の簡易的な確認診断

巨大地震直後、余震がある！建物が住めるか、住めないかの判断をどうすれば良いのでしょうか？

一般の人が活用できる建物診断マニュアルはありません！

下図の確認リストを参考に**自己責任**で在宅避難が【可能か？不可能か？】の確認・判断になります。

大きな地震の直後には、多数の余震が発生する可能性が高く、この余震のため被災建物の一部が落下したり、倒壊したりするなど非常に危険な場合があります。

あなたが所有する建物が被害を受けたときには、確認表により自己責任で確認をして下さい。

「危険・要注意」と自己確認したときは、近くの安全な施設に急いで避難して下さい。この診断確認はあくまで目安です。

安全・確認した場合でも、その後、専門家の診断を受けて下さい。

震災前に事前の専門家の診断を受けるのも対策としては、有効です。

建物の簡易的な確認リスト

次の確認の該当するところに○をつけてください。

確認1	建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化などが生じたか？		
	1. いいえ	2. 生じた	3. ひどく生じた
確認2	建物が沈下していますか？あるいは、建物の周辺の地盤が沈下しましたか？		
	1. いいえ	2. 10cm以上沈下している	3. 20cm以上沈下している
確認3	建物が傾斜しましたか？		
	1. いいえ	2. 傾斜しているような感じがする	3. 明らかに傾斜している
確認4	外壁が落下やひび割れしてませんか？		
	1. いいえ	2. 外壁がひび割れている	3. 外壁が多く落下している
確認5	屋根、屋根瓦、屋根材が破壊してませんか？		
	1. いいえ	2. 屋根瓦、屋根材が少し落下している。	3. 屋根が大きく破壊している。
確認6	床が壊れましたか？		
	1. いいえ	2. 少し傾斜している。下がっている	3. 大きく傾斜している。
確認7	柱が壊れましたか？		
	1. いいえ	2. 少しひび割れている。	2. 大きなひび割れがある。
確認8	内壁が壊れましたか？		
	1. いいえ	2. 壁がはがれている	2. 内壁が崩れている。

「応急危険度判定」

(二次災害防止の緊急・暫定調査)



都道府県知事などが認定した建築技術者が地方公共団体の要請により判定を行います。



応急危険度判定士



【地震発生直後】に応急危険度判定士が当日か数日後か数ヶ月後に調査してくれるかは、わかりません！

調査までの間は、在宅の建物で避難出来るか！出来ないか！

の判断は、簡易的な確認リストを参考に

☆自己責任で自己判断するしかありません！

●調査は、「建物を解体すべきか」、あるいは「修理して使い続けることができるか」を判定するための調査ではありません。判定結果の意味を誤解しないように十分注意しましょう。

●応急危険度判定の「危険」(赤紙)とは、「全壊」の意味ではありません。

●「危険」と判定された場合でも、あわてて壊さず、安全性を高める応急措置をすみやかに行った上で、「修理して使い続けることができるか」を専門の建築構造技術者に調査してもらう。

(赤紙) 意味「建物の中に入ることは危険なため、入る場合は専門家に相談して、応急措置を行った後にしましょう」

「危険」⇒「全壊」、「二次災害防止のために建物を解体・撤去しないと危険」、「修理をしても使い続けることができない」の意味ではありません。

(黄紙) 意味「建物の中に入る場合は十分注意し、応急的な補強は専門家に相談をしましょう」

「要注意」⇒「半壊」の意味ではありません。

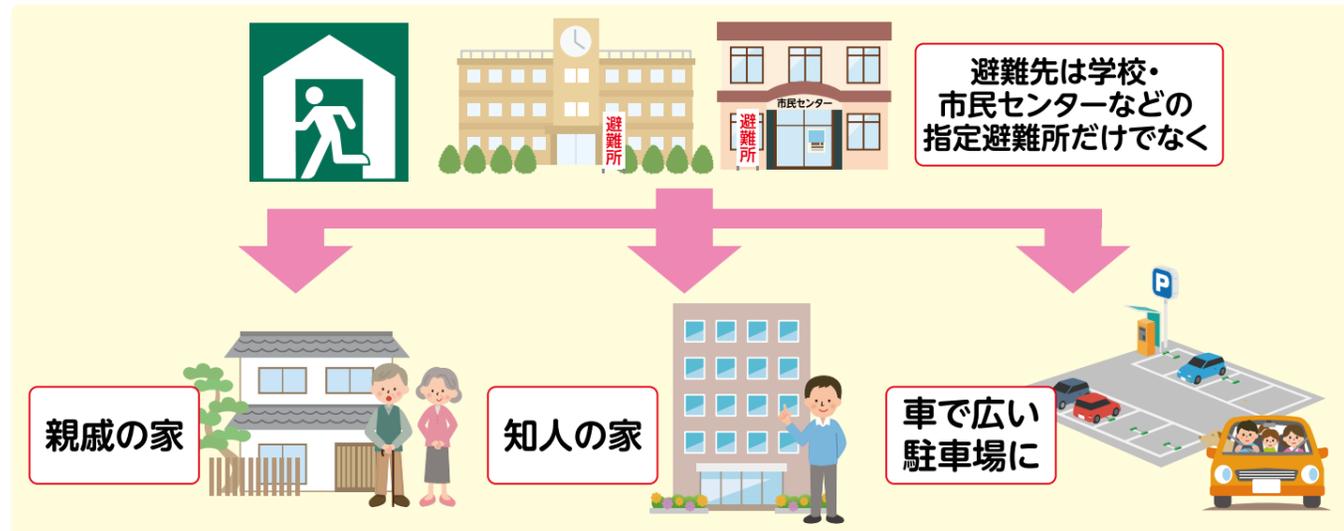
(緑紙) 意味「【危険】又は【要注意】に該当しない場合で、建物の被災程度は小さいと考えられます」「調査済」建物は使用できます。

●り災証明と関係はなく、建物を修理して使い続けることができるかどうかの判定でもありません。

色々な災害に共通すること

「感染症蔓延期」における避難の注意点 避難先を分散して「3密（密閉空間 密集場所 密接場面）」を避けよう

自宅での安全確保が難しい場合には、避難所に避難をしなくてはなりません。
しかし、避難先は自治体が決めた避難所（指定避難所）でなくてはならないわけではありません。
被災していない親戚の家や知人宅なども、予め検討しておきましょう。



被災者に対する小牧市の各種支援制度

詳細は、市ホームページをご覧ください、担当課へお問い合わせください。



市民税・県民税の所得控除、市民税・県民税の減免

適用条件：震災・風水害・火災・その他これに類する災害
市民税課（電話：0568-76-1182）

固定資産税の減免

適用条件：震災・風水害・火災・その他これに類する災害
資産税課（電話：0568-76-1177）

り災証明書の交付

適用条件：火災・震災・風水害・その他これに類する災害
火災・・・消防本部予防課（電話：0568-76-0223）
火災以外の家屋に対する被害・・・資産税課（電話：0568-76-1177）

災害復旧に必要な事業上の設備・運転資金を 使途とする貸付

適用条件：災害救助法が適用された区域
商工振興課（電話：0568-76-1134）

災害見舞金・災害弔慰金・災害障害見舞金の支給

適用条件：震災・風水害・火災・その他これに類する災害
福祉総務課（電話：0568-76-1196）

被災者生活再建支援金の支給

適用条件：震災・風水害・落雷その他これに類する自然災害
福祉総務課（電話：0568-76-1196）

介護給付費等の利用者負担額の減免

適用条件：住宅・家財又はその他の財産について著しい損害
介護保険課（電話：0568-76-1197）

介護保険料の減免・執行猶予

適用条件：住宅・家財又はその他の財産について著しい損害
介護保険課（電話：0568-76-1197）

家庭で保育ができない場合の保育所入所 （保育園の受付状況による）

適用条件：家屋の損害及びその近隣地域内の災害の復旧に
あたっている場合
幼児教育・保育課（電話：0568-76-1130）

保育所保育料の減免

適用条件：災害により保育料の納入が困難となった場合
幼児教育・保育課（電話：0568-76-1130）

など

在宅避難

自宅の安全が確認できれば在宅避難も選択肢の一つです。

避難所へ避難することはひとつの選択肢であり、付近の状況が安全で、自宅が無事なら、そのまま自宅で過ごす「在宅避難」も考えられます。

危険を見きわめ、災害時にどこで過ごすのかをあらかじめ考えておく必要があります。

ライフラインは備蓄品でまかなう

ガスはカセットコンロ、電灯は電池式のランタンやヘッドランプ、スマホ用に手動発電式の充電器、水はペットボトルなど、ライフラインの代替品は備蓄品でまかさないです。



トイレが機能しなくなることもあります

トイレが機能しなくなることも考えて生活用水を確保する必要があります。住宅に雨水タンクを設置するほか、お風呂は沸かす時まで残り湯を残しておくなど日頃の生活習慣を見直してみましょう。



車中泊避難の場合は

エコノミークラス症候群や熱中症に 気を付けましょう

車での移動にあたっては、避難所までの経路が冠水しないか、浸水想定区域ではないかなど安全性を確認してください。

エコノミークラス症候群や熱中症を予防するための物資も日頃から準備しておきましょう。



ライフライン復旧

● 東日本大震災(2011年)の場合

厚生労働省が発表した報告書(東日本大震災水道施設被害状況調査報告書(平成23年度災害査定資料整理版))
 なお、停電は850万世帯、ガス不供給は46万世帯、断水は230万世帯です。

インフラ	当日	1日後	3日後	1週間後	2週間後	3週間後	5週間後
電気	11%	52%	79%	99%	-	-	-
ガス	0	-	-	9%	13%	42%	99%
水道	-	-	50%	66%	88%	99%	-

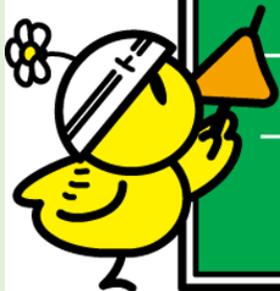
地震で被災したあと、ライフラインの復旧は「早い：電気 >> 水道 > ガス」の順番である。

被災設備の交換やチェックにより復旧までの日数がかかり、特にガスは漏れの確認で時間が必要。

一般家庭で対策すべき順番は「重要大：水 >> 電気 ≧ ガス」が良いと考えられる。

電気・水道・ガスが9割程度復旧するまでの日数

	東日本大震災 (2011/3/11)	阪神淡路大震災 (1995/1/17)
電気	6日	2日
水道	24日	37日
ガス	34日	61日



一度、ご自宅で、
 電気・水道・ガスを使用せず
24時間、生活体験すると、
 すごく現実が理解されると
 思います。

家具類の転倒・落下・移動による被害

● ケガ

近年発生した地震でけがをした原因を調べると、約30～50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。

● 火災の発生

家具などがストーブなどに転倒・落下することで、火災が発生するなど、二次的な被害を引き起こします。

● 避難障害

避難通路、出入口周辺に転倒、移動しやすい家具類を置くと、避難経路をふさいだり、引き出しが飛び出すことでつまずいてケガをしたり、避難の妨げになることがあります。

- 1995年1月の阪神淡路大震災では、けがの原因の約7割が家具類の転倒・落下(46%)とガラスの飛散(29%)によるものだったといわれています。

● 東京消防庁によると、2003年から2008年に発生した地震でけがをした人の原因を調べたところ約30～50%は家具の転倒や落下によるものだったという結果があります。

家具の転倒防止やガラスの飛散防止をしていれば、地震発生時に多くの人がかげがを防ぐことができたこととなります。

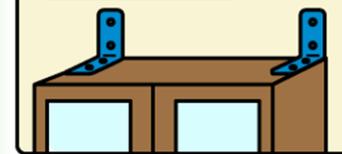


家族の負傷、火災の発生、避難障害の発生を防ぐためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策が非常に大切です。



家具の固定方法 ～本棚・飾り棚編～

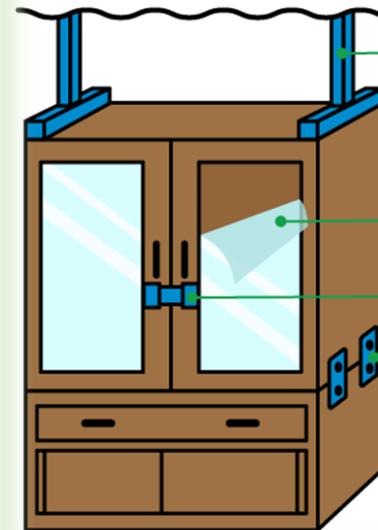
▲ L字金具で壁に固定



▲ ベルト式器具で壁に固定



▲ ポールで天井との隙間をうめて固定



▲ 飛散防止フィルムを貼る

▲ 留め具をつける

▲ 平金具で家具同士を固定



地域の絆

● ささえあう関係づくりが地域の防災機能を高めます！

阪神・淡路大震災における市民による救助者数と
消防、警察、自衛隊による救助者数の対比³

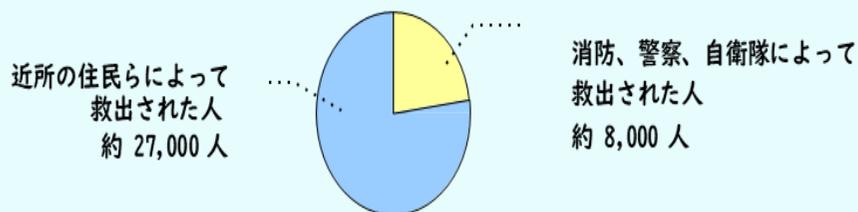
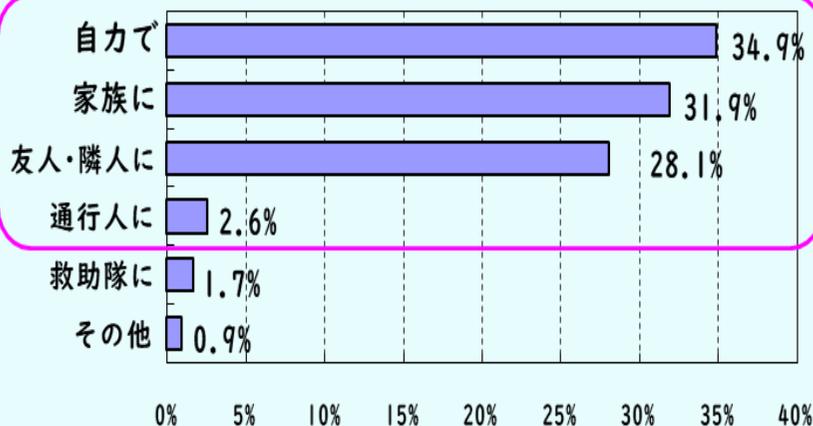


図2 生き埋めや閉じ込められた際の救助



- 多くの犠牲者を出した平成7年1月の阪神・淡路大震災では、普段からの近隣や地域社会とのつながり、結びつきがきわめて重要であることが再認識されることになりました。
- 阪神・淡路大震災では、瓦礫の下から救出された人のうち約8割が家族や近所の住民らなどによって救出されたという報告がある。また、特定の地域では自力又は家族や近所の住民によって救出された割合が9割を超えるという調査結果もあります(図2)。
- また、発災後の活動では、震源地に近く全半壊の建物が8割と甚大な被害を受けたにも関わらず、普段からの見守りネットワーク活動が機能し、さらには近隣同士の助け合い、消防団の活躍により、発災当日の午後3時すぎには全員の安否確認が終了した。
- 旧北淡町富島地区(現淡路市)の例や、地区ぐるみでのバケツリレーによって火災の拡大を食い止めた神戸市長田区真野地区での活動にみられるように、普段から支え合う関係が、大規模災害における犠牲を最小限に食い止めるために大きな役割を果たしました。

こうした例からも、普段から支え合う関係をつくり、地域社会とのつながりを持つことの重要性がみてとられます。

新たな避難情報

令和3年5月20日から
警戒レベル
4 **避難指示**で必ず避難
避難勧告
 避難勧告は廃止です

5月20日より避難指示を一本化



今日から 改正災害対策基本法 避難指示一本化